

防府市人権学習講演会

日時: 令和4年10月19日(水) 14:00~15:30
会場: 笑顔満開通りアスパラート
3階音楽ホール

はじめてのLGBTQ ～性の多様性と人権～

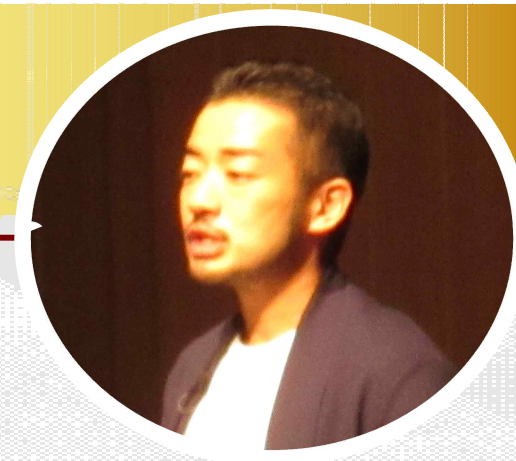
講師: NPO法人東京レインボープライド共同代表理事
杉山 文野 さん

13人に1人、気づけていなかった仲間にあやまりたい。

(参加者アンケートより)



杉山さんの体験より



- ・小さい頃から、スカートをはくのが嫌で仕方なかった。学校に着くととすぐに、制服からジャージに着替えていた。
- ・水泳も剣道も好きだったが、続けることができなかった。男女でユニフォームに違いのないフェンシングは続けることができた。
- ・一番大変だったのは、トイレとお風呂。違和感のある性の中で着替えることは、本当に苦痛。学校では、時間をずらして何とかしたが、社会に出るとさらに大変。
- ・周りに合わせるために嘘をつく。その嘘のために、また嘘をつくことになる。
- ・性的マイノリティーの人を笑いのネタにしたテレビを家族と見ながら、自分も否定されるのではないかと不安だった。
- ・世界中どこに行っても性別について聞かれた。南極でも自分の性から逃げることはできなかった。自分が今いる場所を生きやすくしようと考えた。

みなさんへ

- ・みなさんの周りにもLGBTQの人がいる(いた)可能性があります。今の社会でも、本人がカミングアウトすることは難しいです。見えていない可能性があります(確率では13人に1人)。
- ・同性であることで、大切な人の存在を言えないことは、大切な人の大切な時に、駆けつけられないということです。
また、家族になれないということは同意書も書けないということです。
- ・本人の了承なく、性的指向や性自認を公にすることは注意ください。
- ・性に関する悩みが原因で自殺する子どももいます。
- ・「なんでも話してね!」「間違えたら教えてね!」
LGBTQの本人が、カミングアウトをしやすくなるような、
「ウェルカミングアウト」でいてください。



参加者のアンケートから(原文を掲載)

・濃い内容が心の底にズンと響きました。多くの市民に聴いてほしい内容でした。ウェルカミングアウトしていきます。ありがとうございました。

・おもしろかった。自分のまわりにはいないが、それは自分が知らないだけかもしれないと思った。

・杉山さんの生き方を拝聴し、性はゆるやかなグラデーションであることがよくわかりました。ウェルカミングアウトができる社会になるよう、私も考えを新たにしていきます。ありがとうございました。

・性の多様性についてしっかり考えたことはありませんでしたが、自分に関係のないことだという認識ではいけないなと思いました。本日のお話から、人権意識の持ち方はその人の心の在り方そのものだと感じました。

・LGBTQについて、色んな視点から理解できたと思います。当事者でなければ違和感を感じない日常の出来事も、LGBTQの方々からしたら、心にもやもやを作ってしまうことに気付きました。目には見えない違いだからこそ、ないがしろにしないように、充実したサポートを増やしてほしいと思います。自分にできることは少ないけど、周りの友人や同僚に伝え、LGBTQについての感覚や視点を新しいものにしていきたいです。

・アイデンティティーであり、法や制度、理解不足に壁があるのだと思いました。理解が深まりました。